

**平成30年 第1回
石狩市下水道事業運営委員会資料**

北海道胆振東部地震への対応について

平成30年11月21日

9月6日 3:07 地震発生

石狩市は最大震度5弱

下水道業務継続計画(BCP)により自主的に参集開始

9月6日 3:35 下水道対策本部設置

9月6日 3:45 主要施設の緊急点検開始

- ・施設に異常はなし
- ・停電により施設の自家発電機が正常に起動

しかし

- ・停電の長期化が予想される
- ・望来浄化センター、マンホールポンプ所(樽川×2、本町×1、八幡×3、厚田×4、望来×5)には自家発電機設備がない

↓
最悪の場合、各所で汚水が溢れる恐れがある

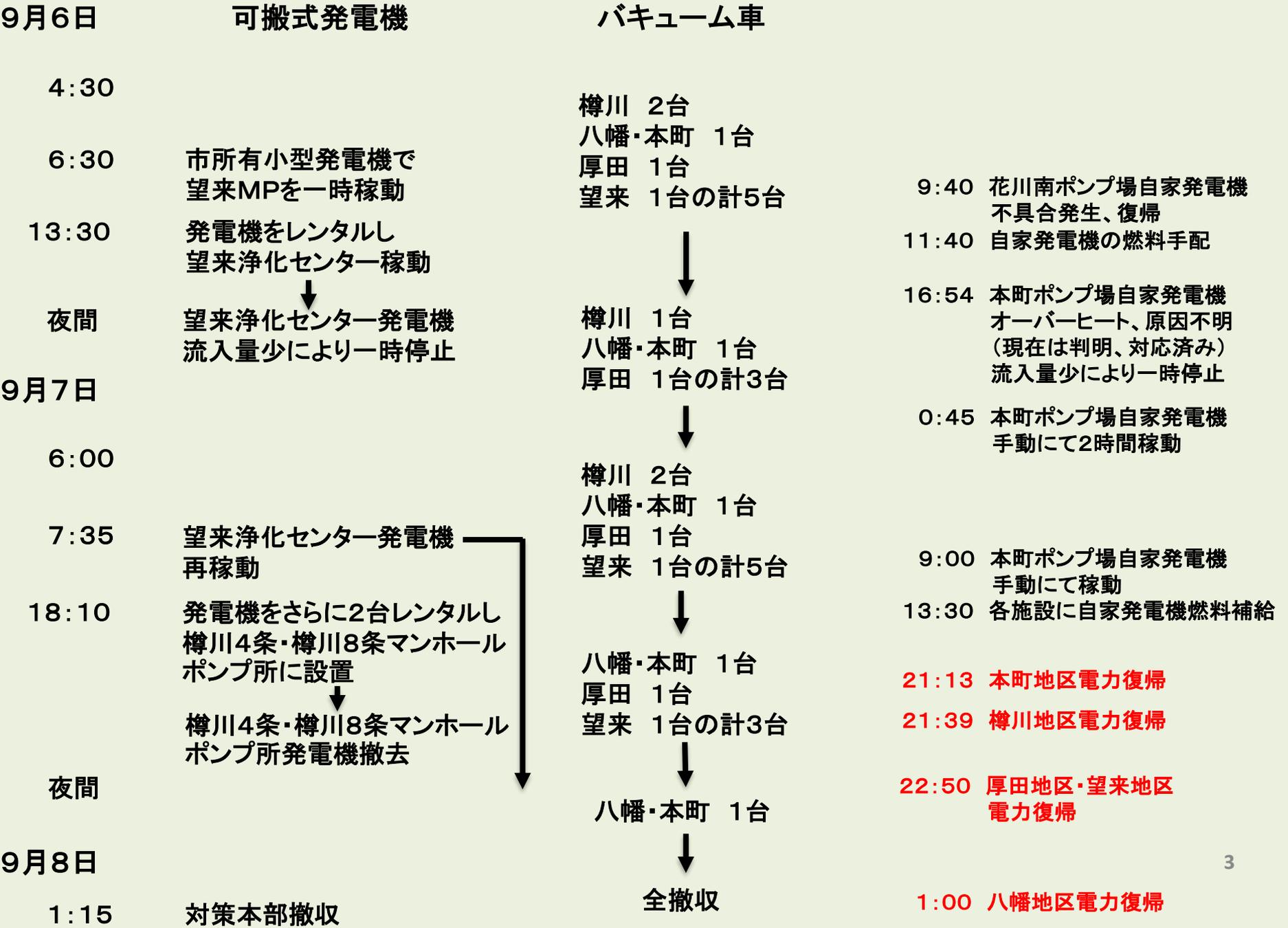
望来浄化センター、マンホールポンプ所に溜まった汚水の処理

可搬式発電機をレンタル、
設置しポンプを稼動する



大型バキューム車で溜まった汚水を
汲み、着水マンホールに吐き出す





今後に向けて

- ・自家発電機用燃料について、今回は近隣スタンドによりスムーズに手配できたが確実に確保できるよう対策する必要がある
- ・バキューム車による対応と、発電機による対応の効率化や費用比較をし、長時間停電時の対応について計画を策定する
- ・可搬式発電機について、必ずレンタルできるよう、協定などによって確実な調達先を確保する必要がある
- ・NTT基地局および携帯電話用アンテナのバッテリーが切れ、地区によっては通信手段が無線のみとなったが、無線も旧石狩市内しか届かないため、対策する必要がある